

今年ご卒業の皆様おめでとうございます。新たに校友となられた皆様に、心から祝詞を申しあげます。諸君が校友となる日を心待ちしておりました。

母校専修大学を校友の母港とするならば、諸君はこの母港から社会という大海原に向かって、欣喜雀跃としていよいよ出港したのであります。限らない喜びと、未知の社会に不安もあると推察します。しかし、何をか恐れんや、専修人として堂々と歩んでください。すべてが切り拓かれ、新天地が現れる

新校友に向けて。

と断言します。「心・技・体」の充実は、アスリートだけに要求されるものではありません。やがて社会人としてのリーダーになられる皆さんにも、あてはまることです。皆さんのミッションは何かと、改めて自らに問いかけてください。これからは、大学で学び身につけたものをフルに回転し、これを惜しみなく活かしてください。どう活かすか、知恵を絞ることです。

私は海軍兵学校で、海軍士官としての教育を受けました。海軍士官は統率者だから、「スマートで目先が利いて几帳面、負けじ魂これぞ船乗り」でなければならないと言いつけられました。格好がいい、要領がいいということではない。速やかで適確な洞察力・判断力があって実行力もなければならない、ということです。また、「士官たる前にまず紳士たれ」とも言われました。(紳士-Gentleman、礼儀正しく、教養・気品のある男子。淑女-Lady、しとやかな女性。)紳士・淑女であってください。社会のり

ーダーとしての要件です。体力も必要です。使命を果たし、世に貢献して自己の能力を発揮するには、まさに健康でなければなりません。私が今も現役でおられるのは、健康管理も自己責任として、若いときから日課として身体を鍛えてきたからです。商学部、そして大学院で講演させていただけたことも健康であったればこそです。わが専修大学は「社会知性の開発」という文言を掲げ、「社会知性」を持った学生を育てよう、大学と社会の関係は相互関係にあり、あるべき社会の姿を大学の知的財、知的なシンクタンクを使って積極的に提示していこう(日高義博学長・理事長談)と真摯に実行しています。その理念の下に学び、卒業された諸君は、これからインテリジェンス溢れた社会人として活躍するのです。校友会はその実践者の団体です。卒業生全員が校友会会員として、いつまでも在籍して実績を上げていただきたいと願う所以です。全国校友会の先輩諸氏は母校愛に燃え、暖かいまなざしで皆さんを待っています。

ご多幸を祈念して攔筆します。

専修大学評議員 校友会副会長(会長代行) 吉江正春



よしえ まさはる ●1950(昭和25)年、専門部経済科卒業。福岡大学大学院法学研究科(公法専攻)にて研修。1928年1月生まれ。福井県出身。1951年より職業会計人として、税務、会計、監査、企業再編、資産評価、講義、講演等に携わる。税法通達発遣、税理士法改正にもあたり、日本税理士会連合会副会長、税制審議会特別委員他、多数の公職につく。著書多数。時事通信社刊行物「巻頭言」を26年間執筆中。祖は上杉謙信、景勝の頃の城持大将の一人、吉江織部佐景宗長男宗信という。

専修大学校友会

Q 校友会とは、どのような組織ですか。

A 専修大学、石巻専修大学、専修大学北海道短期大学の卒業生および大学院の修了者を対象とした正会員をはじめ、準会員、特別会員、推薦会員で構成されています。校友会は、日本全国および海外にある支部の活動支援・連携を中心にを行っています。また、「ホームカミングデー」や「ワイン大学」の開催、本誌「アドニス」の年4回の発行も行っています。

Q 支部の数、校友の数は、どれくらいですか。

A 日本や海外に合計316支部あります。校友数は約25万人で、そのうち事務局で住所を把握できているのは約16万人です。

Q 地域の支部長さんなどの連絡先を知りたい場合は、どうしたら良いですか。

A 支部によっては支部総会をはじめ講演会、ゴルフ大会など、さまざまな催しを開催しています。情報が届かない、連絡先を知りたいという場合は、校友会の事務局までご連絡ください。

〒101-8425 東京都千代田区神田神保町3-8
TEL.03-3265-7579 FAX.03-3265-7089
E-Mail: koyuka@acc.senshu-u.ac.jp